



2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日

上場会社名



株式会社メタリアル

上場取引所 東

コード番号 6182 URL <https://www.metareal.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 五石 順一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 グループ管理本部長 (氏名) 荒川 健人 TEL 03-6685-9570

四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	1,135	15.4	211	89.8	207	66.2	135	127.3
2024年2月期第1四半期	983	△7.0	111	6.4	124	7.5	59	6.4

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 136百万円 (129.5%) 2024年2月期第1四半期 59百万円 (6.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	12.56	12.43
2024年2月期第1四半期	5.57	5.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	4,600	1,818	38.6
2024年2月期	4,458	1,681	36.8

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 1,777百万円 2024年2月期 1,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,946	18.4	412	△44.8	—	—	—	—	—

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2025年2月期の連結業績予想の「経常利益」、「親会社株主に帰属する当期純利益」及び「1株当たり当期純利益」については、新規事業Metareal AIに伴う負債・資本両面での資金調達等の財務計画上の不透明さは軽減されているものの、営業外損益及び特別損益等の予測困難性が高い項目を含むことから、現時点では非開示としております。今後、予想の確度が上がった場合には、速やかに具体的な数値の開示をさせていただきます。

◆セグメントごとの連結業績予想

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期				
AI事業	3,600	17.8	519	△44.5
HT事業	1,146	2.6	210	44.7
メタバース事業	200	—	△200	—
その他本社費等	—	—	△118	—

（注）2024年2月期第2四半期連結会計期間より、従来「MT事業」としていた報告セグメントの名称を「AI事業」に変更しております。

従前AI翻訳を主としたセグメントとして「MT事業」を称してきましたが、今後の企業戦略並びに足元の状況としては「生成系AI」も含めたより広範なAIサービスを見据えており、より適切にその実態を表す名称として「AI事業」へと名称変更いたしました。

なお、あくまで名称変更であり、数値区分修正はございません。

また、今後の成長戦略であるMetareal AI関連売上の案件について、受託開発型や成果型準委任、使用権としてのライセンス等の形態が含まれております。それらの売上計上については成果物納品、検収時期やライセンス時期（及びライセンスにおける諸条件）によって売上計上時期が大きく異なっており、四半期毎の売上計上時期にも濃淡が発生します。当社の年度業績予想数値はそれらの四半期毎の濃淡を年度単位として均した結果であり、検収時期等のずれによる前後四半期への計上タイミング異動が発生する可能性があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	10,769,660株	2024年2月期	10,768,460株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	490株	2024年2月期	490株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	10,768,648株	2024年2月期1Q	10,687,992株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年3月1日～2024年5月31日)につきましては、AI事業は受注、売上、営業利益共に過去最高を更新し、HT事業のセグメントにおいては対前年同期比における利益の減少が発生したものの、メタバース事業においては損失発生額が縮小いたしました。

結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,135,459千円(前年同期比15.4%増)、営業利益は211,943千円(同89.8%増)、経常利益は207,524千円(同66.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は135,200千円(同127.3%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

前第2四半期連結会計期間より、従来「MT事業」としていた報告セグメントの名称を「AI事業」に変更しております。この変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

また、前連結会計年度より、報告セグメントごとの経営成績をより適正に評価するため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しております。当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の測定方法に基づいております。

①AI事業

AI事業におきましては、受注高は堅調に推移し985,066千円(前年同期比9.2%増)となりました。売上高は受託案件等の影響により893,638千円(前年同期比25.6%増)となり、セグメント利益は新規事業である「Metareal AI」への先行投資影響を含めても288,765千円(前年同期比79.9%増)となりました。短中期の成長施策として2024年2月期より開発・提供を開始した「Metareal AI」プロジェクトに関しましては、早期での業績寄与を目指し、大手のお客様を中心に生成系AIを活用した様々な提案、営業を開始し大型受注にも繋がっております。

②HT事業

HT事業におきましては、売上高は241,464千円(前年同期比10.9%減)となり、セグメント利益は18,686千円(前年同期比43.2%減)となりました。

③メタバース事業

短中期の成長施策を「Metareal AI」プロジェクトにシフトし、メタバース事業は10±5年の長期視座として投資額を減らしたことにより、売上高は356千円(前年同期比75.4%減)となり、セグメント損失は49,613千円(前年同期は55,219千円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,720,988千円となり、前連結会計年度末に比べ192,846千円増加いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が177,371千円増加、現金及び預金が8,836千円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ50,676千円減少して879,223千円となりました。これは主に、有形固定資産が9,249千円減少、無形固定資産が40,094千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,147,333千円となり、前連結会計年度末に比べ141,382千円増加いたしました。これは主に、前受金が178,013千円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ135,909千円減少して634,709千円となりました。これは主に、長期借入金が83,995千円減少、社債が45,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,818,168千円となり、前連結会計年度末に比べ136,697千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が135,200千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経営上のテーマは以下の2点です。

①業種特化の専門文書をターゲットにしたAI翻訳の事業基盤を生成AI事業に拡大

「業種特化型の専門文書」を対象にしたAI翻訳として顧客に高く評価を受けた『T-400』等の専門文書データと6000社を越える顧客基盤を活用することによって、「業界特化の専門文書」に領域を絞ったまま、これまでの翻訳という狭い領域から文書作成における全工程に領域を拡大します。受託開発、共同開発、SaaSプロダクトによって、顧客が抱える専門文書作成に関わるスピード・人的工数等の課題を解決します。

昨年様々なAIソリューション商品・サービスの試行錯誤を重ねた結果として、AI翻訳と同様に「業種特化の専門文書」に集中・選択することに勝算（需要が確実にあり、かつ当社に優位性がある領域）が確信できたことから、今期の経営方針は利益最大化から成長加速に優先を切り替え、AI事業の売上拡大のための思い切った先行投資を行い、3年後（2027年2月期）の売上90億円（連結売上100億円）を目指します。

②メタバース事業におけるデジタルツインを自動生成するAI技術を活用した受託開発ソリューション提供の開始

メタバース事業は、10年±5年後以降での開花を想定する長期成長戦略として、「Metaverser」構想及びその手段としての「Metaverse×AI」を課題として取り組んでおりますが、特に今期からはデジタルツインを自動生成するAI技術を活用した受託開発ソリューション提供の開始に注力します。

デジタルツイン構築の従来手法としては「3Dレーザースキャン」「平面キャプチャ画像の組み合わせ」が存在しましたが、前者は手間とコスト、後者は視点・視野に制限があるなどの課題がありました。そこで、次世代の3D空間構成技術「Gaussian Splatting」によって、特別な機材や作業無しに、スマホで撮影した動画から簡単にフォトリアルなデジタルツインを自動生成するAIの受託開発ソリューションを提供します。ユースケースは建設・不動産・製造業を中心とした産業向けを想定します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,077,184	3,068,348
受取手形、売掛金及び契約資産	210,127	387,499
棚卸資産	18,100	24,737
その他	229,434	250,064
貸倒引当金	△6,705	△9,660
流動資産合計	3,528,142	3,720,988
固定資産		
有形固定資産	60,997	51,747
無形固定資産		
ソフトウェア	419,465	370,248
ソフトウェア仮勘定	2,837	13,647
その他	10,090	8,403
無形固定資産合計	432,393	392,299
投資その他の資産		
投資有価証券	142,542	144,270
その他	327,232	315,688
貸倒引当金	△33,266	△24,782
投資その他の資産合計	436,508	435,176
固定資産合計	929,899	879,223
資産合計	4,458,042	4,600,211
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,323	56,839
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	400,980	380,980
1年内償還予定の社債	164,000	164,000
未払法人税等	88,954	105,364
賞与引当金	45,632	92,263
前受金	814,062	992,076
その他	326,998	355,809
流動負債合計	2,005,951	2,147,333
固定負債		
社債	359,000	314,000
長期借入金	398,570	314,575
その他	13,049	6,134
固定負債合計	770,619	634,709
負債合計	2,776,571	2,782,043
純資産の部		
株主資本		
資本金	792,541	792,639
資本剰余金	1,766,488	1,766,586
利益剰余金	△918,731	△783,530
自己株式	△986	△986
株主資本合計	1,639,312	1,774,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,011	2,313
その他の包括利益累計額合計	1,011	2,313
新株予約権	41,146	41,146
純資産合計	1,681,470	1,818,168
負債純資産合計	4,458,042	4,600,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	983,792	1,135,459
売上原価	332,537	348,810
売上総利益	651,254	786,648
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	159,087	160,861
研究開発費	51,999	50,017
賞与引当金繰入額	31,312	33,449
退職給付費用	1,935	1,748
その他	295,267	328,629
販売費及び一般管理費合計	539,601	574,705
営業利益	111,652	211,943
営業外収益		
受取利息	11	6
為替差益	650	—
助成金収入	16	—
未払配当金除斥益	—	203
貸倒引当金戻入額	20,875	—
キャッシュバック収入	—	133
その他	1,270	163
営業外収益合計	22,824	507
営業外費用		
支払利息	2,669	2,174
持分法による投資損失	6,246	1,452
為替差損	—	1,128
その他	697	169
営業外費用合計	9,613	4,925
経常利益	124,863	207,524
特別利益		
固定資産売却益	831	127
投資有価証券売却益	—	19,999
その他	—	400
特別利益合計	831	20,527
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
減損損失	2,826	5,965
特別損失合計	2,826	5,965
税金等調整前四半期純利益	122,868	222,086
法人税等	63,388	86,885
四半期純利益	59,480	135,200
親会社株主に帰属する四半期純利益	59,480	135,200

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	59,480	135,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1,301
その他の包括利益合計	—	1,301
四半期包括利益	59,480	136,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,480	136,502
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結損益計算書関係)

(投資有価証券売却益)

前第1四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年5月31日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2024年3月1日至2024年5月31日)

当社が保有する投資有価証券のうち、国内非上場会社の新株予約権1銘柄(VoiceApp株式会社)を売却したことによるものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	AI事業	HT事業	メタバース事業	計		
財又はサービスの種類別						
機械翻訳	687,478	8,149	—	695,627	—	695,627
人間翻訳	17,624	262,731	—	280,355	—	280,355
メタバース	—	—	1,449	1,449	—	1,449
受託開発	6,359	—	—	6,359	—	6,359
顧客との契約から 生じる収益	711,461	270,880	1,449	983,792	—	983,792
収益認識の時期別						
一時点で移転される 財又はサービス	63,766	235,123	943	299,832	—	299,832
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	647,695	35,757	506	683,959	—	683,959
顧客との契約から 生じる収益	711,461	270,880	1,449	983,792	—	983,792
外部顧客への売上高	711,461	270,880	1,449	983,792	—	983,792
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,535	12,457	—	13,993	△13,993	—
計	712,997	283,337	1,449	997,785	△13,993	983,792
セグメント利益 又は損失(△)	160,516	32,909	△55,219	138,205	△26,552	111,652

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△26,552千円には、セグメント間取引消去52,443千円、報告セグメントに帰属しない全社費用△78,995千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	AI事業 (注) 3	HT事業	メタバース事業	計		
財又はサービスの種類別						
機械翻訳	685,574	6,538	—	692,113	—	692,113
人間翻訳	13,553	234,925	—	248,479	—	248,479
メタバース	—	—	356	356	—	356
受託開発	194,510	—	—	194,510	—	194,510
顧客との契約から 生じる収益	893,638	241,464	356	1,135,459	—	1,135,459
収益認識の時期別						
一時点で移転される 財又はサービス	185,587	209,859	73	395,519	—	395,519
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	708,050	31,605	283	739,939	—	739,939
顧客との契約から 生じる収益	893,638	241,464	356	1,135,459	—	1,135,459
外部顧客への売上高	893,638	241,464	356	1,135,459	—	1,135,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	800	10,846	4,178	15,824	△15,824	—
計	894,438	252,310	4,535	1,151,284	△15,824	1,135,459
セグメント利益 又は損失(△)	288,765	18,686	△49,613	257,839	△45,895	211,943

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△45,895千円には、セグメント間取引消去61,899千円、報告セグメントに帰属しない全社費用△107,795千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 生成系AI関連売上は、プラットフォーム型売上については「機械翻訳」に含まれており、受託開発関連売上については「受託開発」に含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

前第2四半期連結会計期間より、従来「MT事業」としていた報告セグメントの名称を「AI事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当社グループにおける近年の業容拡大等の変化とともに全社的な経営管理の重要性が高まる中で、報告セグメントごとの経営成績をより適正に評価するため、本社機能における費用配賦について見直すことといたしました。このため従来、本社管理部門において行われた費用削減活動の効果は、セグメント利益の調整額に含めておりましたが、前連結会計年度より本社管理部門から各社への役務提供割合に鑑みて配賦計上する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメント利益又は損失の測定方法に基づき作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	5.57円	12.56円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	59,480	135,200
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	59,480	135,200
普通株式の期中平均株式数(株)	10,687,992	10,768,648
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	5.47円	12.43円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	178,445	105,541
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。